日独産業協会
Deutsch-Japanischer
Wirtschaftskreis

2024 年 活動・財務報告書

NETWORKING | INFORMATION | BUSINESS

日独関係の強化を後押しすること、それが日独産業協会（DJW）の活動の目的です。DJWの構想が生まれたのは1984年。この年、ドイツ産業界の代表が東京で開催された産業博を訪れ、さまざまなアイデアや新たな人脈、そして何より日本に対する強い関心を携えてドイツへ帰国しました。1980年代、日独間には既に安定的かつ強固な外交関係が築かれ、両国の関係省庁や多国籍組織を通したパートナーシップに基づく協業が進められていました。その一方で、公式の場を除いて、日独両国のビジネス関係者が直接交流する機会が不足していました。このような背景から、ドイツ産業界の代表による訪日旅行を機に、日独間の交流を促進するための対話の場を設けるという基本構想が生まれたのです。

この思いは、今日の私たちの活動にも引き継がれています。1986年、上記構想に基づき日独産業協会（DJW）が設立されました。以来、現在に至るまで、当協会は、両国にとって関心の高いテーマについて情報を交換し、懸案事項を取り上げ議論するためのプラットフォームを提供してきました。このプラットフォームをベースに広がるDJWのネットワークの輪は、両国企業に加え、経済産業振興組織、産官学そしてメディアの代表、また、日独ビジネスに興味・関心を寄せる個人、次世代の日独交流を担う若手ビジネスパーソンや学生など多様なメンバーから構成されています。私たちは、二国間の経済関係とオープンで透明かつ公正な対話を促進するという明確な共通の目標のもとに、これらすべての関係者を結集させています。

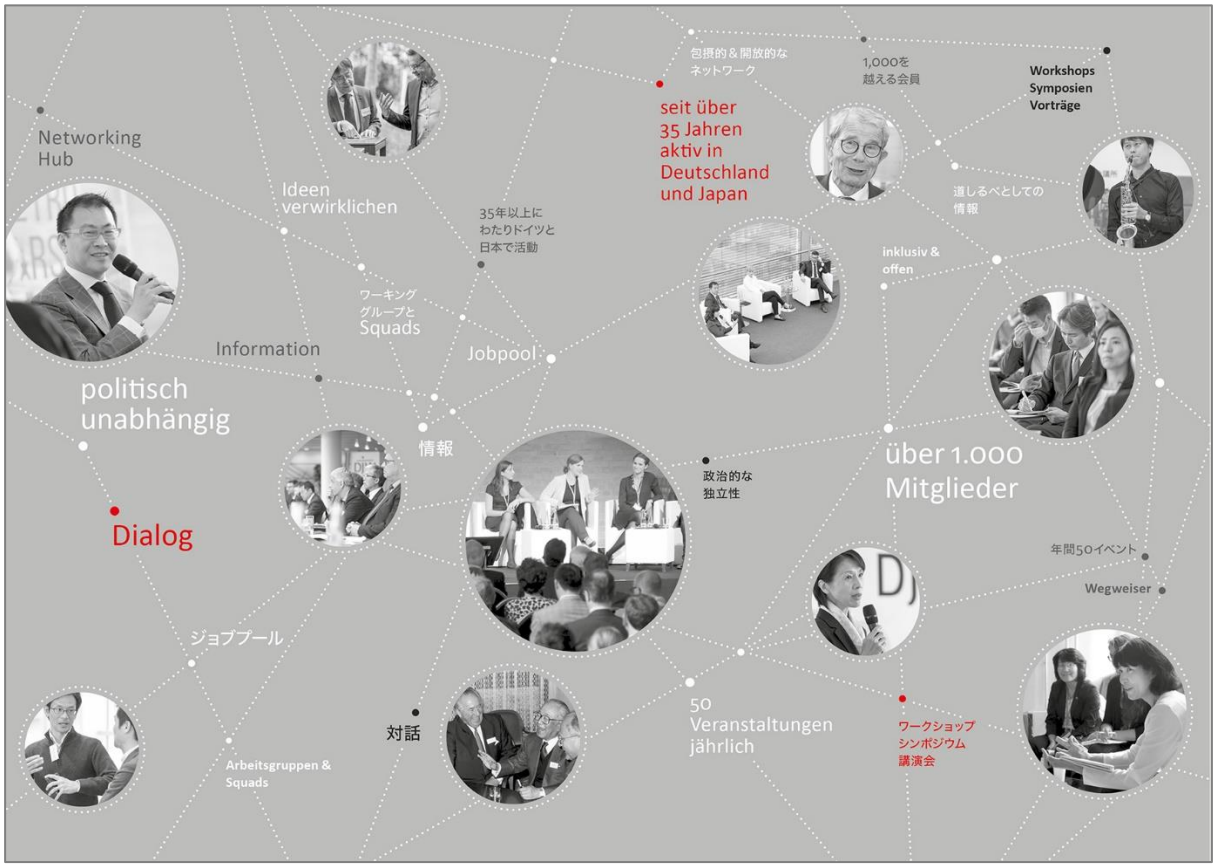
DJWの会員数は現在943を数え、協会の取り組むべきテーマの具体化において積極的に関与いただき、ひいては協会の未来を形作っていただいています。その強固な基盤を形成するのが、協賛会員、そして正会員の皆様です。会員の大半は、ドイツと日本に拠点を置いていますが、DJW会員のネットワークは、他の欧州諸国、アジア、米国にも広がっています。これによりDJWは国境を越えて活動を展開する最大規模の日独ビジネスプラットフォームとなっています。

さらに次の2つの側面がDJWをユニークな存在にしています。当協会は、公益を目的とした非営利の登録団体として100%民間資金で運営されており、その予算はひとえに年会費と寄付から捻出されています。また、財政面だけでなく政治的にも独立しており、いかなる官公庁や財団にも属しません。そのことにより得られる活動の自由度を私たちは非常に重視しています。そうあることで初めて、会員やパート

ナーの皆様とともに、日独両国が関心を持つ最新テーマや動向に迅速に対応し、DJWの活動の枠組みの範囲内で取り上げていくことが可能になると考えています。

以下に、2024会計年の活動を報告致します。2024年は、会員の皆様に協会が推進するプロジェクトへ参加し、企画や計画の段階から関与していただくとともに、自らのアイデアを実現してもらうなど、会員の皆様をより力強くかつ積極的に「巻き込んで」いくことに明確な焦点を当てました。それに加えて、DJWとその活動により簡単にアクセスし、活用していただけるように、pretixやPayPalなどのデジタルツールを採用し、デジタルアジリティを高めることに注力しました。

次ページより、2024年の当協会のプロジェクトの詳細をご紹介します。これらの報告を、新しいアイデアや国境を越えた未来の協業のためのインスピレーションにつなげていただけたならば幸いです。



「DJW ユニバース」-- DJW ブローシャー 2025 より

活動分野

イベント

当協会の最も重要な目的は、経済分野における日独間の連携を強化するとともに、公正かつオープンな協力関係を促進し、それにより様々なレベルにおいて相互理解を深めることにあります。確かな情報の提供、定期的な交流、そして堅牢で長期的視野に立った関係の構築は、両国が互いに学び合い、活発かつ信頼のもとに成り立つ対話を行うための重要な基盤となります。当協会が開催するイベントは、そのために確立され、幅広く活用されているプラットフォームであり、DJW の活動趣旨と定款に掲げる目的を実行に移し、持続的に命を吹き込む役割を担っています。当協会主催のイベントが会員の皆様だけでなく、日独間の経済交流に関心を持つすべての方々に開かれている理由もここにあります。

2024 年の活動では、2023 年に始動させた**コミュニティ・イベント**を、開催場所、そして地域やコミュニティとのパートナーシップの観点からさらに拡大していくことを目標に掲げました。前年にスタートし、拡大継続に成功したのが、「Japanese-Bavarian Business Dialogue: Munichiwa!」、そして「Japamburg」との連携、および「German-Japanese Smart Meetup」（大阪）です。いずれのプロジェクトも、ミュンヘン、ハンブルク、ならびに大阪でのイベントの定期開催に至っており、当該地域での DJW の可視性と日独ビジネスネットワークとしての総合的な認知度の向上につながっています。これらに加えて、2024 年には、東京でも初めて同イベントを開催したほか、以下の 3 つのコミュニティ・イベントも始動させました。

- 「Nippon meets Baden-Württemberg」（シュトゥットガルト）
- 「Japan meets Berlin-Brandenburg」（ベルリン）
- 「Rhein-Neckar Business Talks」（シュパイヤー）

既に定期的に開催されていること、参加人数から判断されるニーズの大きさ、またイベントをきっかけとした新規入会会員の存在、これらはいずれも、上記 7 つのコミュニティ・イベントの継続実施を後押しするものです。イベントの継続を支持するもうひとつの大切な論拠は、DJW のパートナー組織（各地域の独日協会（DJG）、日独青少年協会（DJJG）、ベルリン日独センター（JDZB）、デュッセルドルフ日本商工会議所（JIHK）、日本貿易振興機構（JETRO）、商工会議所（IHK）、連邦政府、州政府、主要都市の経済振興部門、大使館、総領事館、名誉領事館、法人会、日本人会、そして積極的に活動を展開する各地の DJW 会員など）との持続的かつ、**組織や業界の枠を超えた横断的な協力関係**です。

当協会が力を入れるもうひとつの分野が、**次世代の日独経済関係を担う若者たちに対する支援**です。お互いの国に興味を持ってもらい、キャリア形成の機会をサポートし、将来のキャリアパスの幅を広げるお手伝いをしています。両国の教育機関や大学との協力は、この点で特に効果的です。2024 年、私たちは立命館大学との協力関係を継続し、異文化コミュニケーションに関連する講義やセミナーを共同で開催、同テーマに関心を持つ同大の 150 名の学生にご参加いただきました。そのほか、ベルリンとフランクフルトでも DJW キャリア・トークならびにキャリア・フォーラムを開催し、多くの方にご出席いただきました。

DJW が提供するイベントは、これまで同様、テーマと開催地、両方の面からバラエティに富んでいます。平均して週に 1 回のペースでイベントを開催しており、日独両国で合計 50 件のイベントを開催した計算となります。2024 年には、日独経済が直面するグローバル規模での課題、レジリエンス、コンテンツクリエーション、データセキュリティ、日本学を専攻する学生のキャリアパスなど、日独ビジネス・コミュニティの皆さんに関心の高い、多岐にわたるテーマを取り上げました。

DJW が主催した 50 のイベントだけでも、延べ参加人数は 1,150 人超に上りました（内訳は、ドイツ人参加者：63%／日本人参加者：37%、DJW 会員：80%／非会員：20%）。

イベントのハイライトは以下の通りです（開催イベントの一覧は、本報告書の付属資料をご覧ください）。

- ハノーファーメッセの一環として開催され、2024 年で 17 回目を迎えた「日独経済フォーラム」において、私たちは今回も強いシグナルを発するとともに、プレゼンスを示すことができました。DJW の会員でもある Ecos Consult、そしてドイツメッセとともに、ケルン経済研究所（IW）、ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会（RRI）をはじめ、企業や組織の代表をお招きし、「日独両国の産業における熱と資源の転換」をテーマに議論を行いました。当日は、120 名の参加者をお迎えし、ドイツ連邦経済・気候保護省の後援の下、ロベルト・ハーベック大臣、岩田和親経済産業副大臣より、ビデオメッセージを通してご挨拶いただきました。
- 日本でもパートナー組織との協力関係を継続し、在日ドイツ商工会議所（AHK Japan）および大阪・神戸ドイツ総領事館とともに、既に実績あるイベント形式「**German Economic Roundtable**」を 7 月（詳細は DJW ウェブサイトに掲載）と 10 月（詳細は DJW ウェブサイトに掲載）に開催しました。両回とも約 60 名の参加者にお越しいただき、デジタル教育や、神戸の地で長い歴史を持つドイツ企業およびビジネスをテーマに取り上げました。
- 2021 年にスタートした **DJW Spot On!** のイベント形式を 2024 年も成功裏に継続させていくことができました。10 月、前年に引き続き日本経済新聞社欧州総局長の赤川省吾氏をゲストにお迎えし、モデレーターによる司会進行のもと、DJW 理事長ゲアハルト・ヴィースホイとの対談を通してグローバルな文脈において日独経済が直面する具体的な課題についてお話しいただきました（詳細は DJW ウェブサイトよりご覧いただけます）。
- 本会計年を通して、**DJW シンポジウム**を 2 回（第 1 弾：フランクフルト、第 2 弾：東京）開催し、中心テーマには「レジリエンスと未来への備え」を取り上げました。当日は各々、多角化、イノベーション、危機に対する備え、ならびに少子化問題と外国人労働者の受け入れなどについて議論を交わしました。
- また、DJW の伝統である「**DJW 会**」をエアフルト、デュッセルドルフ、フランクフルト、ミュンヘン、ヴィリッヒにて開催し、産業政策、企業経営と事業の発展、コンテンツクリエーション、持続可能性などをテーマに積極的に対話を行いました。
- さらに、**DJW「エグゼクティブ・ラウンジ」**も継続実施に成功しており、2024 年は 2 度、それぞれプフロンテンとニュルンベルクにて開催しました。
- 2024 年のもうひとつの大きな成果としては、**ワーキンググループ**や**スクワッド**の取り組み、ならびにその成果が DJW の活動に組み込まれたことが挙げられます。特に、「異文化マネジメント」、「DJW 内 DAAD SP 奨学金プログラム OB 会」、「German-Japanese Professional Women's Network」、「サステナビリティ」の各ワーキンググループが、活発に活動を展開しています。このような能動的かつ自律的な協力関係こそが、DJW の存在をユニークなものにしており、会員やネットワークからの提案やアイデアを実現するためのプラットフォームとしての DJW の価値を高めていると言えます。
- 加えて、DJW のウェブサイトやソーシャルメディアチャネル、ニュースレターでのイベント情報の告知、DJW によるプレゼンテーションやスピーチ、挨拶、司会、あるいはコンタクトパーソンの紹介を通して、**DJW 会員および提携団体・企業主催のイベント**を多数サポートしました。
- 両国の大使館および総領事館、在日ドイツ商工会議所（AHK Japan）、各地の法人会や日本人会、ベルリン日独センター（JDZB）、学術ならびに研究機関、交流団体、独日・日独協会、経済振興組織など、全国規模あるいは地域レベルで活動を展開する様々な組織との協力を継続・拡大しました。こ

れらはいずれも、DJWのリーチを広げ、より多くの人、企業に日独間の交流に関心を持っていただくという明確な目的に基づいています。

コンタクト & インフォメーションプラットフォーム

DJW 会員の皆様には、さらに以下のサービスを提供しています。

- イベントに加えて、会員同士を直接つなぐもうひとつの機会が**Networking Hub**です。デジタル空間でのワーキンググループの運営は対面の場合に比べハードルが低く、オンライン上で開催されるDJWイベントや交流イベントの告知に関しても、Networking Hubに参加する会員にとってアクセスしやすい環境が整備されました。タグ（地域や業種など、検索性をより高めるキーワード）の一層の充実を図ったことで、より的を絞った形でネットワークを構築していただけるようになりました。また、Networking Hubを通して、DJWからの情報や会員の皆様より寄せられたお問い合わせを共有しました。
- **デジタル会員名簿**には、掲載を希望する全会員の連絡先が登録されており、フィルター機能を用いて様々な基準に基づき絞り込んだり、ソート機能を使って並び替えたりできます。名簿へは、パスワードで保護されたDJWウェブサイト上の会員専用ページからアクセスでき、会員の皆様ご自身による編集が可能です。
- 企業会員と組織・団体会員の皆様には、DJWウェブサイト上で一般に公開される**エキスパートプール**も提供しています。エキスパートプールの掲載情報も、会員専用ページから自由に編集していただけます。会員ディレクトリはサービス業と製造業の両方をカバーしており、分野別にフィルタリングしたり、その他の基準で検索をかけたりすることができます。また、会員名簿およびエキスパートプールにロゴを掲載し、視認性の向上を図っていただくこともできます（有料）。
- エキスパートプールと**インフォメーションマップ**との連携により、会員の皆様には、DJWウェブサイト上でのプレゼンスを高めていただけます。2021年のマップサイトのローンチ以来、エキスパートプールに登録された会員は、**企業および組織・団体会員の国・地域別マップ**上に自動的に掲載されるようになりました。**ビジネス・学術・政治分野で活躍する会員やパートナー**を紹介するマップでは、日独交流の分野で活動を展開する組織や団体の概要を拠点別にご覧いただけます。**キャリア・マップ**は、ドイツと日本でのキャリアパスを示すもので、内容に合わせて分類されています。
- 日独**インフォメーションプール**には、DJWチームや理事メンバー、会員、パートナーからのビジネス関連情報、出版物や記事などを幅広く掲載しています。
- さらに、企業会員の皆様には、オンライン上の**ジョブプール**に求人情報を掲載し、条件に合致する候補者探しに役立てていただきました。2024年にジョブプールに掲載された企業会員からの求人件数は226件となりました。また、LinkedInとXで求人情報が更新された旨を周知することで、ジョブプールならびに会員企業からの求人への注目度を一層高めることができました。
- DJWからの最新情報や、日独関連の政治経済動向を評価・分析した理事長ゲアハルト・ヴィースホイによるコラムが掲載されたDJWニュースレターも、例年通り、毎月メールでお届けしました。ニュースレターとコラムは、DJWウェブサイトにも掲載されており、アーカイブよりご覧いただけます。加えて、DJW理事メンバーを皆様によりよく知っていただくことを目的に、理事へのインタビュー・シリーズも継続しました（ヴィルヘルム・メームケン）。また、会員やパートナーの皆様が主催するイベントや会員企業の求人情報も、DJWニュースレターを通して毎月配信しています。

広報活動

イベント、そしてプラットフォームを通して提供する人脈の構築と情報交換のための様々な機会は、日独両国において、私たちの活動の中核を成しています。これらはおそらく、DJW の活動のなかでも目に見える、最もわかりやすい形であると言えます。2024 年、私たちは協会の活動趣旨の実現へ向けて、以下のようなプロジェクトにもエネルギーとリソースを注ぎました。

- **2025 年大阪・関西万博ドイツパビリオンのパートナーに**

2024 年末、DJW が 2025 年に開催される大阪・関西万博のドイツパビリオンのオフィシャルパートナーを務めることを発表でき、これは私どもにとって大きな喜び、そして誇りになりました。4 月 13 日から 10 月 13 日まで大阪で開催される万博には、「いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）」というテーマのもと、世界中の国・地域が集結します。パビリオンのステージ上で定期的に講演や対談を行うという DJW のコンセプトが、ドイツの万博出展を統括する連邦経済・気候保護省（BMWK）に採用されました。これは DJW にとってひとつの重要なマイルストーンであり、グローバルな舞台における日独協力への私たちの積極的な取り組みを裏付けるものと言えます。DJW 会員の皆様と協力しながら、コンセプトの実現に取り組んでまいります！

- **DJW アンバサダー**

2024 年、DJW アンバサダーとの活動を計画通りスタートさせました。私たちの目標はドイツと日本で、約 20 人のアンバサダーから成る可能な限り多様でバランスの取れたネットワークを構築することです。ここで言う多様性は、拠点、代表する業種や産業、ビジネス、政治、社会、学術研究など、それぞれがアクティブに活動するネットワークを指します。同時に、アンバサダー同士のローカルな交流を後押しするために、ある程度の地域的な集中を想定しています。2024 年末時点で、下記の DJW アンバサダーが既に活動を開始しています。

- 中 亮介（大阪）
- 吉田 有希（東京）
- リヒャルト 正光 シャイフェレ（シュトゥットガルト）
- ザビーネ ガンタ・リヒタ（ボン）
- イェンツ・ハイルマン（ダルムシュタット）

11 月末に「第 1 回 DJW アンバサダー・ミーティング」を実施し、自己紹介に始まり、方針やアイデアをすり合わせ、DJW の活動をより充実したものにしていくための意見交換を行いました。お互いのことを知り、それぞれが持つネットワークについて説明し、アンバサダーの役割を形成するためのアプローチを共有するための場となりました。その後、速やかに活動を開始し、影響力を発揮していただけるよう、全員に DJW アンバサダーの名刺、イメージブローシャー、ピンバッジを配布しました。また、DJW ウェブサイトでのアンバサダーの紹介も鋭意進めているところです。

- **DJW の新たなイメージ動画**

力強い日独ビジネス・コミュニティと、数々の組織とのパートナーシップに基づく協業を通して、私たちは目標を達成し、日独ビジネス関係者や親密先から成る緊密かつ堅牢なネットワークを維持・強化すること

ができます。より広範に認知度を高めていく目的で、私たちは 2024 年夏に新しい DJW イメージビデオを発表しました。このイメージビデオは、DJW を DJW たらしめているもの、そして協会の活動を成功に導くうえでコミュニティの一人ひとりの存在がいかに大切であるかを表現しています。

- **イベント参加申込・自動管理システム「pretix」の導入**

私たちは、多数の DJW イベントをプロフェッショナルかつ迅速に運営することを自らに課しています。それはつまり、参加申込があれば速やかに確認を行い、問い合わせに回答し、参加費が発生するケースでは請求書を遅滞なく発行することを意味します。これまで、これらのプロセスはすべて事務局スタッフが手作業にて対応してきました。綿密なリサーチに加え、DJW 会員からの提案もあり、私たちはこれらのプロセスを可能な限り標準化し、自動化することを決定しました。ハイデルベルクを拠点に展開されているチケットシステム pretix が、非営利団体である DJW に特に適していると判断しました。イベント規模の大小を問わず対応でき、ユーロのみならず日本円での表示も可能、支払いプロセスやリマインダーも事前に適切に設定すれば自動で作成および送信されます。また、任意の決済サービスプロバイダーを選択できること、DJW に課されるシステム利用料が、有料のイベント申し込みに対してのみ発生することも利点です。以上の論点を鑑み、DJW では pretix を採用することに決定しました。なお、初めて pretix を用いて申込を受け付けた 2025 年初のイベントでは、DJW 事務局内の作業を従前に比して効率的に実施することができました。

- **PayPal によるデジタル決済**

DJW ではこれまで、(a) ドイツ銀行のユーロ口座または、みずほ銀行の円口座への銀行振込、(b) DJW 会費の SEPA 口座引き落とし（要委任状）という 2 種類の支払い方法を提供してきました。2024 年には決済手段の選択肢を拡充し、年会費ならびにイベント参加費を PayPal 経由でお支払いいただけるようにしました。この決定は、アクセスの容易なデジタル決済手段を提供する国際的なサービスプロバイダーを選択し、それにより請求金額の迅速な支払いを促し、未収未払金を削減し、中期的に年間予算からの償却処理を極力回避することを目的としたものです。

- **プログラムされた DJW 入会申込書**

デジタル化が進むなか、私たちは 2024 年、入会申込書手続きを合理化・自動化し、デジタル処理に対応させるというアイデアを実行に移しました。外部プロバイダーと協力し、ドイツ語および日本語の入会申込書（協賛会員用を含む）を新たに作成しました。これらは電子署名にも対応しています。

組織

理事メンバー*

- Prof. Dr. モーリッツ・**ベルツ**　フランクフルト大学教授（フランクフルト）
- ニコル・**バスティアン**　ハンデルスブラット　ライブ・ジャーナリズム / ポッドキャスト / 動画担当チームリーダー（デュッセルドルフ）
- Dr. ユルゲン・**グロースマン**　ゲオルグスマリーエンヒュッテホールディング有限会社オーナー（ハンブルク）
- **片岡** 進　ジェトロ副理事長（東京）
- **國部** 毅　株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長（東京）
- Dr. シュテファン・**マイアー**　ドイツ国際政治安全保障研究所所長、学術政策財団（SWP）事務局長兼理事長（ベルリン）
- ヴィルヘルム・**メームケン**　エコスコンサルタント有限会社代表取締役（オスナブリュック）
- **成川** 哲夫　三菱地所株式会社 社外取締役（東京）
- ヴィルフリード・**シュミット**　コンサルタント（ベルリン）
- Dr. **神余** 隆博　関西学院大学理事・学長特別顧問、元大使（兵庫）
- Dr. フォルカー・**シュタンツェル**　元大使、独日協会連合会（VDJG）会長（ベルリン）
- マンフレッド・**シュターン**　コンサルタント（エシュボルン）
- **菅野** 一義　ジェトロ・デュッセルドルフ事務所 所長（デュッセルドルフ）
- **立川** 雅和　デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長（デュッセルドルフ）
- **筒井** 義信　日本生命保険相互会社代表取締役会長（東京）
- Dr. ルプレヒト・**フォンドラン**　DJW 名誉理事長、独日協会連合会（VDJG）名誉会長（デュッセルドルフ）
- Prof. Dr. フランツ・**ヴァルデンベルガー**　ドイツ日本研究所（DIJ）所長（東京）
- ゲアハルト・**ヴィースホイ**　B.メッツラー・ゼール・ゾーン＆Co. AG 代表取締役社長（フランクフルト）
- **ヴィースホイ** 弘貴　ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長（東京）

* 2024 年 12 月末現在

事務局（デュッセルドルフ & 東京）

当会計年の事務局構成は次の通りです。
デュッセルドルフ事務局：事務局長 1 名（フルタイム）／会員対応・サービス担当スタッフ 2 名（時短勤務）／プロジェクトアシスタント 1 名（時短勤務）／学生アルバイト 1 名（ミニジョブ）

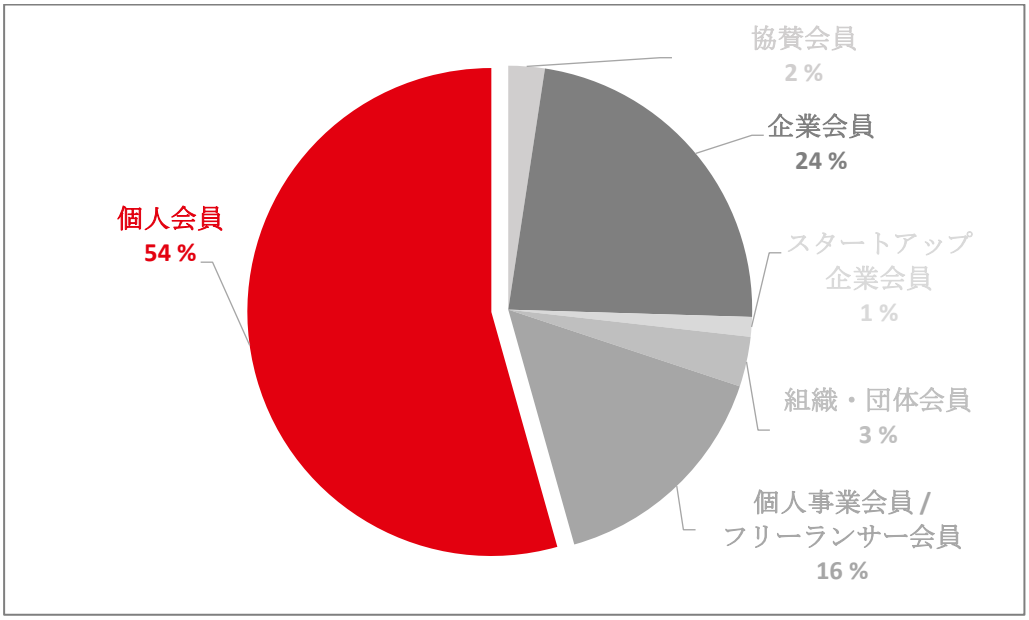
東京駐在事務所：駐日代表1名（フルタイム）

会員構成の推移

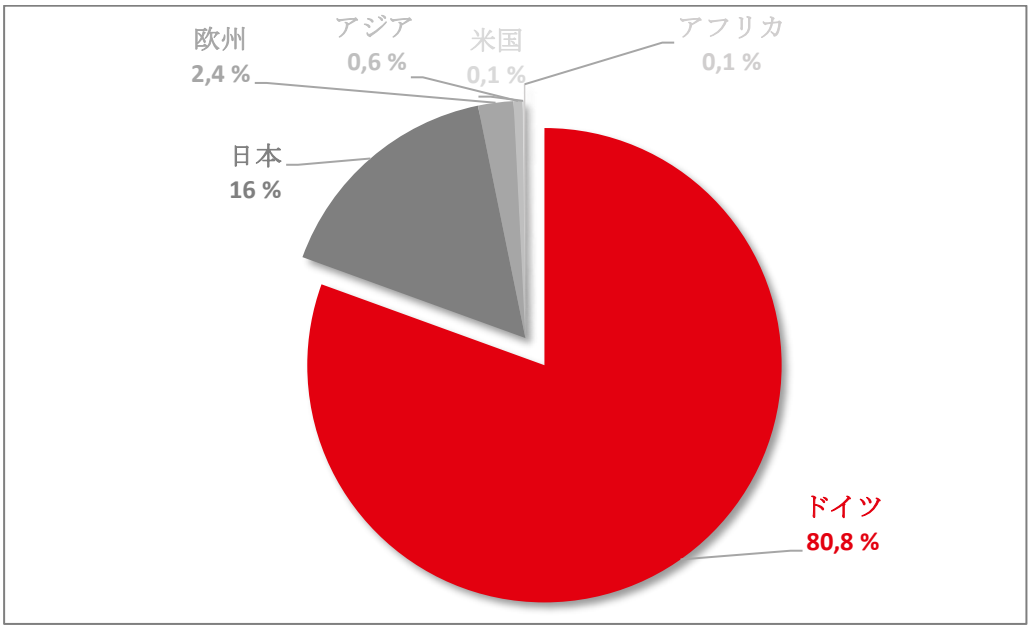
当協会の会員は、日独両国の企業、サービスプロバイダー、経済振興団体、産官学の代表、ジャーナリスト、フリーランサー、個人事業主、スタートアップ、次世代の日独経済を担う若手ビジネスパーソンや学生などから構成されています。

2024 年には、新たに合計 71 の正規会員（内訳：企業会員 19、スタートアップ会員 3、組織・団体会員 1、個人事業主・フリーランス会員 14、個人会員 34）にご入会いただきました。

DJW 会員の内訳（会員カテゴリー別）



DJW 会員の内訳（拠点別）



本会計年は、合計 24 社の協賛会員より特別なご支援を賜ることができました。

2024 年協賛会員

DAIDO LIFE	DAIKIN	DC advisory	dentsu	DMG MORI
DWS	EINTRACHT FRANKFURT	Enobyte Data Protection	すてきな未来応援します フコク生命	HITACHI
kikkoman	METZLER B. Metzler seel. Sohn & Co.	MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES	ADVISORY	NISSAY
NOMURA	NÜRNBERGER VERSICHERUNG	Panasonic INDUSTRY	SBI Holdings	SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
SMC Expertise – Passion – Automation	TaylorWessing	TORAY	YASKAWA	

2024 年末時点の会員総数は 995 となりました（前年末：995）。企業、組織・団体、個人事業主、そして個人の皆様から成る包括的なネットワークとして当協会は、全国規模で活動する最大の日独プラットフォームとなっています。国別の内訳では、ドイツ国内の会員が大多数の 80%を占めています。日本を拠点とする会員の割合は一定して 16%強となっています（その他の国は合計 3%弱）。

2024 年の新規会員の**入会動機**で最も多かったのは、**インターネットでの検索**と **DJW ウェブサイトの訪問**でした（15%）。それに続く入会経路が、DJW 会員（13%）、DJW のパートナーや親密先（9%）からの紹介です。さらに、DJW チーム、理事メンバー、特別顧問との**個別コンタクト**も入会のきっかけとなりました（7%）。その他の入会経路には、DJW が提供する**イベントやワーキンググループなどの交流機会**（11%）、**ソーシャルメディア**（3%）、大学や学校（1%）が挙げられています。

なお、2024 年中の会員数の増加に対して、2025 年より有効となる **81 件の退会申請**（通常退会 80 件の他、死亡ならびにカテゴリー変更にともなう期日を遡及しての退会が 1 件）がありました（前年の退会数：71 件）。

財務

以下の収支概要（簡略版）が 2024 年の協会の収支です。

2024年収支報告簡易版[1]

NETWORKING | INFORMATION | BUSINESS

FINANZEN 2024 | 2024年財務情報

DJW 日独産業協会 Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis

VEREINFACHTE EINNAHMEN- UND AUSGABENÜBERSICHT 2024 | 2024年収支報告（簡易版）

Einnahmen (EUR) | 収入 (EUR)	2024	2023
Mitgliedsbeiträge | 年会費	286.833	304.671
- Reguläre Mitglieder | 正会員	*160.709*	*177.000*
- Förderer | 協賛会員	*124.555*	*126.000*
- Währungsausgleich | 為替調整	*1.569*	*1.671*
Spenden | 寄付	00	20
Veranstaltungen | イベント (Sponsoring, Teilnahmebeiträge, Schulungen | スポンサー費、参加費、研修費)	26.733	34.398
Sonstige | その他 (Kooperationen | 協力費)	11.834	11.838
Summe | 合計	**325.400**	**350.927**
Vereinsergebnis 2024 (Negativbetrag) | 2024年単年収支(赤字)	**- 22.893**	

Ausgaben (EUR) | 支出 (EUR)	2024	2023
Personal- und Bürokosten | 人件費・事務費 (z. B. Gehälter, Büroinfrastruktur | 給与、事務消耗品費など)	245.250	246.013
Veranstaltungen | イベント (z. B. Catering, Raummiete, Reisekosten | ケータリング、会場使用料、出張経費など)	53.747	74.034
Abschreibungen | 減価償却 (Sachanlagen, GWG, Forderungsverluste | 有形固定資産、少額資産、回収不能による損失)	12.189	1.099
Sonstige | その他 (z. B. Bank, Buchführung, Versicherung, Beratung, Repräsentations- und Öffentlichkeitsarbeit | 銀行手数料、会計委託、保険、コンサルティング料、渉外・広報活動費など)	37.107	47.983
Summe | 合計	**348.293**	**369.129**

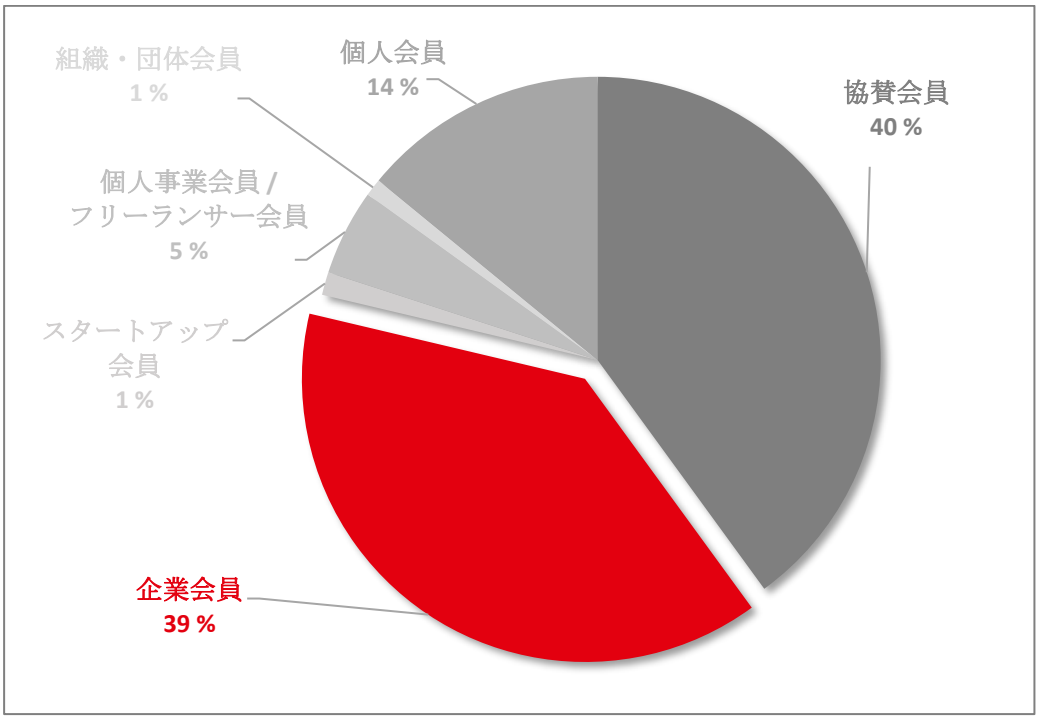
固定費の大部分については、**会費収入**にて賄うことができています。安定した会員基盤、ドイツならびに日本でのネットワークの拡大は、従来通りの頻度ならびに質の高い枠組みで活動を行うための大前提となります。既存会員の皆様、そして日独ビジネスに従事する企業や組織に協賛会員となっていただくことは、今後も、明確な目標のひとつです。なお、2024年の新規会員数は前年とほぼ同じであり、会員数は安定的に推移しています。

前年との比較では、DJWイベントに要する費用を大幅に削減することができました。その背景には、DJWが他の組織とパートナーシップを組んで開催し、参加費を全参加者で均等に負担するコミュニティ・イベントの始動および成功があります。これにより、コストの負担義務を複数の共催組織の間で分散されると同時に、地域レベルでのDJWの存在感を高めることができています。

2022年に開始し、2023年に継続された、視認性を高めるデザインと統一された協会イメージを通してDJWの広報活動を強化するプロジェクトに、2024年も引き続き注力しました。グラフィックデザイナーの力を借りて制作したデザインの基本要素は既に完成しており、さまざまな用途に使用できるようになっています。

[1] 本報告書では簡易的に概略値を掲載しています。例年通り、詳細な損益計算書と資産・負債の明細を記載した貸借対照表は別途税理士事務所にて作成しています。

DJW会費収入の内訳（会員カテゴリー別）



会員、パートナー、スポンサーの皆様との協力関係は、多様なテーマと多岐にわたる活動内容から成るポートフォリオを実現するうえで、引き続き重要な役割を担っています。長年にわたり築かれてきた協力関係に加え、新たなターゲットグループを開拓し、特に日本におけるDJWの認知度向上につながる関係の構築にも取り組んで参ります。

終わりに

DJW会員の皆様

約1,000を数える会員を擁する非営利公益団体として、日独産業協会（DJW）はそのリーチの広さ、影響力ともに日独両国において一定の評価を得ています。ベルリンと東京の両国大使館、総領事館、名誉領事などの在外公館、両国の省庁、財団、民間企業、国から地域、都市まで様々なレベルの経済振興組織、学術分野やメディアの代表、ビジネスパーソン、フリーランサーなどから構成される、多様性に富む日独ビジネスネットワークにおいて、DJWは重要かつ存在感あるパートナーとなっています。過去数年にわたり、協会の会員数が安定的に推移していることは、私たちの活動や方向性、具体的な内容とサービスに対する支持の表れだと言えます。

その一方で、国際的な環境で活動を展開する団体として、本稿執筆中の2025年春にまさに進行中の地政学的な秩序の変動がもたらす影響も感じ取らずにはいられません。民間企業は投資に慎重になり、それにともない（協賛）会員としての入会にも消極的になっています。個人会員もまた、ボランティアベースの活動や寄付行為を見合わせるようになっています。国内および国際的な舞台における不確実性が、活発で多様性に富み、共に何かを成し遂げる喜びを分かち合うことのできる組織活動の妨げになっていると言えるかもしれません。

しかし、これはDJWには当てはまらないと、確信をもって言えます！それどころか、この1年、私たちはこれまで以上にネットワークの活力を感じてきました。DJWは、個別のアイデア、新たな提案およびコンテンツを実現するためのプラットフォームならびに「始動のためのスペース」として認識され、利用されています。会員は、DJWチームに働きかけ、一緒に新しいサービスを開発したり、イベントを企画したり、興味深い新たな枠組みを創出しています。ワーキンググループの活動も、引き続き活発に展開されています。

「DJWユニバース」——それは大きな全体像のほんの一部にしか過ぎませんが——には、こうした会話であったり、それに注意深く耳を傾けることであったり、あるいは世の中の出来事の喧騒から離れた静かな交流が存在し、それが励ましとなり、モチベーションとなります。非営利組織を定義するのはまさにこうした点だと、私は考えています。引き続き、アイデアのため、そして実行に移すための場を生み出し、それらを確実に促進し、人々を結びつけ、対話へと導き、開かれたネットワークを構築する場であること。この空気感とダイナミズムを維持すべく、これからも——たとえ不確実な時代にあっても——エネルギーを注いでまいります。

皆様の信頼に心より感謝し、これからも皆様と一緒に歩んでいければ大変嬉しく存じます。

DJW事務局チームを代表して。

事務局長アンネ・ポムゼル
2025 年 4 月、デュッセルドルフ

（署名済み原本は DJW 事務局にて保管）

参考資料 – 2024 年開催イベント一覧

25.01.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

15.02.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

20.02.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Sustainability"**

06.03.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

12.03.2024 **Erfurt, Asa no Kai**, in Kooperation mit LEG Thüringen

14.03.2024 **Hamburg, Japamburg**

14.03.2024 **Online, Interkulturelle Japan-Schulung** für ein DJW Mitgliedsunternehmen

15.03.2024 **Online, Interkulturelle Japan-Schulung** für ein DJW Mitgliedsunternehmen

21.03.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

10.04.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

18.04.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

18.04.2024 **Pfronten, DJW Executive Lounge**

18.04.2024 **Osaka, DJW Socializing**, in Kooperation mit DZGO Corporation

22.04.2024 **Hannover, 17. Deutsch-Japanisches Wirtschaftsforum**, in Kooperation mit ECOS und Deutsche Messe

16.05.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

22.05.2024 **Online, Interkulturelle Japan-Schulung** für ein DJW Mitgliedsunternehmen

24.05.2024 **Speyer, Rhein-Neckar Business Talks**, in Kooperation mit DJG Vorderpfalz und VDJG

27.05.2024 **Düsseldorf, Wirtschaftstag Japan**, mit Unterstützung des DJW

31.05.2024 **Frankfurt, DJW Career Talk**, in Kooperation mit Nippon Connection Filmfestival

06.06.2024 **Stuttgart, Nippon x Baden-Württemberg**, in Kooperation mit Japan Club Stuttgart, Honorarkonsulat Stuttgart, Baden-Württemberg International (BW_i)

11.06.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Sustainability"**

13.06.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

16.06.2024 **Düsseldorf, Treffen der DJW Working Group „German-Japanese Professional Women's Network"**

20.06.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

25.06.2024 **Hamburg, Japamburg**

27.06.2024 **Osaka, DJW Socializing**, in Kooperation mit DZGO Corporation

28.06.2024 **Düsseldorf, DJW Gogo no Kai**, in Kooperation mit DoKomi

03.07.2024 **Frankfurt, DJW Mitgliederversammlung**

03.07.2024 **Frankfurt, DJW Symposium** zum Thema Resilienz und Zukunftsfähigkeit

18.07.2024 **Kobe, German Economic Roundtable**, in Kooperation mit AHK Japan und Generalkonsulat Osaka-Kobe

18.07.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

23.07.2024 **Tokyo, DJW Socializing**

25.07.2024 **Osaka, DJW Socializing**, in Kooperation mit Kitahama Partners

05.08.2024 **Online und Osaka, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

11.09.2024 **Berlin, Japan meets Berlin-Brandenburg**

19.09.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern und JETRO

19.09.2024 **Nürnberg, DJW Executive Lounge**

25.09.2024 **Stuttgart, Nippon x Baden-Württemberg**, in Kooperation mit Japan Club Stuttgart, Honorarkonsulat Stuttgart, Baden-Württemberg International (BW_i)

26.09.2024 **Osaka, DJW Socializing**, in Kooperation mit DZGO Corporation

10.10.2025 **Berlin, Deutsch-Japanische Partnerschaftstage**, mit Unterstützung des DJW

10.10.2025 **Berlin, Karriereforum**, in Kooperation mit der Deutsch-Japanischen Jugendgesellschaft (DJJG)

14.10.2024 **Düsseldorf, Spot On!**, in Kooperation mit JIHK, Hojinkai Frankfurt und JETRO

17.10.2024 **Frankfurt, DJW Gogo no Kai**

17.10.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern, JETRO und JIHK

18.10.2024 **München, DJW Gogo no Kai**

29.10.2024 **Osaka, German Economic Roundtable**, in Kooperation mit AHK Japan und Generalkonsulat Osaka-Kobe

31.10.2024 **Osaka, DJW Socializing**

01.11.2024 **Online und Osaka, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

05.11.2024 **Tokyo, DJW Symposium** zum Thema Resilienz und Zukunftsfähigkeit

11.11.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Sustainability"**

21.11.2024 **Düsseldorf, Treffen der DJW Working Group „German-Japanese Professional Women's Network"**

21.11.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern, JETRO und JIHK

22.11.2024 **Frankfurt, Deutsch-Japanische Wirtschaftsgesprächec**, in Kooperation mit DJG Frankfurt und Hojinkai Frankfurt

05.12.2024 **Osaka, DJW Socializing**, in Kooperation mit DZGO Corporation

11.12.2024 **Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management"**

18.12.2024 **Willich, DJW Asa no Kai**

19.12.2024 **München, Munichiwa!**, in Kooperation mit DJG Bayern, JETRO und JIHK

Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis e. V.

日独産業協会

デュッセルドルフ事務所（本部）
Graf-Adolf-Strasse 49
40210 Duesseldorf
Tel.: +49 (0)211 - 99 45 91 91

東京駐在事務所
Expert Office Kojimachi, Zi. 415
2-10-3 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo
Tel.: +81 (0)90 - 67 47 74 90

Web: www.djw.de
E-Mail: info@djw.de